



**SCA ラリーの  
申込締切近づく**

来る11月6日(日)に予定されている第25回埼玉県サイクリングラリーの申込締切日が近づいています。まだ手続きをしていないクラブ、会員は至急協会事務局まで申し込んで下さい。

期 日 昭和58年11月6日(日)  
雨天決行  
主 管 県東支部  
会 場 松伏町金杉小学校  
日 程 8:30~9:00 集合・受付  
9:00~9:30 開会式・オリエンテーション  
9:30~15:30 A) 土堤  
づくしサイクリング(60K)  
B) 輪行ゲーム&サイクリング(45K)  
15:00~15:30 閉会式  
解散

対 象 中学以上の一般県民  
定 員 200名  
参加費 300円(参加章、飲物、傷害保険料他)  
携行品 整備された自転車、昼食  
雨具、保険証他  
申 込 10月27日(木)までに参加費を添えて右記まで申し込んで下さい

SCA事務局 0488-24-2711  
その他 健康には充分留意の上参加のこと。

**県レク大会で表  
彰受ける**

去る10月2日(日)、深谷市文化会館で開催された埼玉県レクリエーション大会の総合開会式において、長年のレク活動が認められ次の方とクラブが表彰を受けました。

協会としても大変名誉なことで、今後とも活躍を期待します。

〈巧劣賞〉 杉山 弘  
〈優良団体〉 浦和市サイクリング連盟、ちちぶサイクリングクラブ

**洋上大学に5名  
参加決定**

11月22日~12月1日に行なわれる青年洋上大学に次の5名の方の参加が認められました。

協会会員として、立派な成果をあげることを期待します。

渡辺健一、小林道子(ちちぶCC) 飯島 明(川口CC)  
関口敦史(らくだCC) 五十嵐 眞子(埼玉宮代CC)

## 「海外派遣を終って（その2）」

午後はオープンハウスを見学する。日本ではいけば学童クラブのようなものがあるが、カリキュラムを組み、陶芸、木工、写真技術などを15才までの子供達を対象として運営されている、時々親達も参加しているとのことであった。外には広い子供広場があり、自由小屋などを作ったりして遊んでいた。

フランクフルトを後にして、オデンワールトに向う。いよいよ、最大の大イベントホームスティである。興味はあるが一抹の不安が残る、はたしてドイツ語での対話が出来たのだろうか？

団員は緊張した顔つきでバスを降り、出迎えのファミリとともに各家庭に散っていった。

見ず知らずの国で、言葉も満足に通じない家庭で、3日間を過ごすことには大変なことである。

小生も1ヶ月のドイツ語特訓をして臨んだが、実際話そうとするとなかなか言葉が出ないものだ。けっきょく英語とドイツ語のチャンポンに手振りや交じえた会話となつてしまった。

ドイツの家は必ず地下室を持ちそこには手作りのビクルスやワイン等が貯蔵されていることももちろん、ふしぎなことに卓球台が置いてあった。（たまたま2軒の家を訪問しただけなので、全部の家がそうであるわけではないだろう。）

9月10日の夜はロストフのゲストハウスでパーベキューパーティーが開催された。各家庭に散っていた団員がファミリーとなごやかに集まってきた。まるで昨日とは別人のような顔をして・・・

テレビ「サイクルにっぼん」お知らせ  
【第1回フレンドシップサイクルロードレース】  
テレビ東京 10/29日 16:45 17:00

パーティーは10時過ぎまで続き、酔った勢いでファミリーと一緒にディスコパーティーにくり出す一幕もあった。かくなる小生が同行したことは言うまでもない。

12時過ぎまで踊り、家に帰ったのは午前1時であった。インフォメーションによると、ドイツ人は早寝、早起で、午後9時過ぎは大きな音を出してはいけないと聞いていたのだが？！

9月11日、昨夜の疲れも少し残っていたが元気に起床、朝食後さっそくご主人と同宿の者と一緒にサイクリングを楽しむ。固定ギヤで前ブレーキしかないのが最初はうまく走れなかったが、10分程走るともう慣れたもの、下り坂などブレーキのことを気にしないので楽である。郊外を2時間程走って帰宅する。

昼食を共にしながらホームスティからの引取が行なわれる。お別れにドイツ語で野バラを歌い出すとドイツの人達も一緒に歌う。何か熱いものがこみ上げてくる。いよいよ別れの時を迎える。あちらこちらで涙を流しながら別れを惜しんでいる。小生も思わず目頭が熱くなる。たった3日間のホームスティであったが、団員にとっても、又小生にとっても一生忘れることのできない思い出となった。

（つづく） 渡辺記

### 〔インフォメーション〕

◎浦和市少年非行対策推進大会

日時 昭和58年10月25日(火)

午後1時30分 開会

会場 浦和市市民会館ホール

内容 シンポジウム

「うずの中にいる子どもたち」

## 女性サイクリスト の集い終る

第8回の女性サイクリストの集いが10月15日～16日、軽井沢で開催された。

15日午後3時、宿舎「アカシア」に参加者が集合、午後4時から入所式が始まった。

女性サイクリストのつといだけに男性はひかえ目なので小さく見える。

夕食後自己紹介やプレゼント交換など、総勢29名がなごやかな内に交流が深まっていた。

天気予報によると、明日は雨のちくもりとのこと、寒の定夜半から屋根に雨の音、うらめしい。

翌朝、雨あいをみながら出発する。エキゾチックなレイクニュータウン、から松林の小道を縫ってバトルを踏む。軽井沢ならではの情緒をたっぷり味わいながら別れを惜しみつつ昼食後散会した。

## バリ鳥ツアーについて

先月号でお知らせしたバリ鳥ツアーの説明会が10月11日、東京の有楽町で開催された。

すでに41名の参加希望者があり、団長にはJCAの馬越副会長、副団長には矢野弘明（宮崎）、

委員長に星野 清（埼玉）、副委員長に福島松吉（東京）、西島司郎（福岡）の各氏が決まった。

なお埼玉から8名（内女性4名）が参加の予定である。

## サイクリング

### ターミナル完成

栃木県にサイクリングターミナルが建設された。所在地は宇都宮市福岡町で、国鉄宇都宮駅から関東バス、長畑行又は鹿沼行で25分、田野町朝日屋下車、徒歩40分。

県立自然公園の中、市森林公園と連なる自然の丘陵地帯に位置する。周辺には野外公園、キャンプ場、魚釣場、バーベキュー場などがある。宿泊は70名。

このターミナルを起点とし自転車に乗って美しい日本再発見のためにサイクリングすることは楽しいことと思う。〈日本輪通より〉

### 〈友好団体関係〉

#### ○青少年育成県民大会開催される

昭和58年度の青少年育成県民大会が10月17日、浦和市の埼玉会館で行なわれた。

少年の主張県民大会入賞の中学生3人、子ども会関係者、婦人補導員が意見を発表した。

又日ごろ青少年の育成に尽した9人、6団体の表彰が行なわれた。



里野 清  
九開鳥クラブ  
会員証番号 1001

サイクリング歴) 昭和30年からサイクリングを続けている。全国ラリーには全国参加、故に北海道～四国～九州と開催地をチョコチョコと走っている。

近ごろは海外サイクリングにも参加、台湾2回、中国は南京～上海を走る。

抱負) SCAと共に歩んできたが、そろそろ世代交替を感じながらも……

マイペースでサイクリングの旅を楽しみたい。できればのんびりとオーストラリアなどを走ってみたいと思っている。

\*横顔 (文責 杉山弘)

埼玉県サイクリング協会の運営と共に、その半生を過ごしてきた人だ。任意組織であった頃のJCAを支えた一人でもあり、今日までのJCAの歴史を語ることできる数少ない一人でもある。

創立以来の協会における事務処理の成果については、県内外関係者の等しく知るところであり、その優れた人格や指導力をはじめ、協会に対するエネルギーは一般人の考える趣味に対する姿勢をはるかに越えた貢献をしている。

数多くの大会や事業を成功させた功績も大きく、それに費やされた労は計り知れないものがある。今後も世代を超えた感覚を養い、若い、新しい指導者とかかわり合って、理性的な指導者として、年と共に保守的に成りやすい時代を越えて欲しいと思うものである。

今回アメリカより21世紀の自転車タイヤというキャッチフレーズでプラスチック(ポリウレタン)製のタイヤが輸入された。

特徴としてエアレスなのでパンクが無い。プラスチックの中空構造なので乗り心地がソフト、5色のカラーがそろっているなどがあげられている。

### ＜編集後記＞

天高く馬肥ゆる秋といいたところだが、どうもこのところの天気は思わしくない。食欲の秋、スポーツの秋でもあるのだが！天候不順がなにかの前ぶれでなければよいが？

外国に行って一番不自由なことは、水が飲めないこと、けっきょくビールかワインということになる。いつもなら旅行をすると痩せるのだが、今回は太って帰国する。しかし何につけても日本ほど過しやすいところはない。

### 【事務局日より】

今月号より会員紹介を連載することになりましたが、いかがですか。横顔は本人でなく、他の人に書いてもらうことにしました。

事務局あるいはニュース担当から原稿依頼がありましたら、その時は宜しくお願いします。